重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	災害に強い社会基盤整備が行き届いている	
施策名	災害に強い社会基盤整備を推進する	No.16

年度	平成27年度
責任部長	総務部長
主担当課長	危機管理室長
関係課	まちづくり課、公園緑地課、道路課、治水課、上水道整備課、下水道建設1課・2課、計画調整課、農業振興課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標		指標のめざす方向	現状値 H18 / H24	実績値 H20 / H25	H21 / H26	H22 / H27	H23 / H28	H24 / H29	目標値 5年後 / 10年後
避難施設の耐震化率（%）		↗	60.1	71.2	71.9	82.9	92.5	96.5	71.0
			96.5	97.5	97.5	98.5			100.0
ライフライン・橋梁の耐震化率（%）	①電気	↗	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
	②ガス		86.0	88.6	89.8	91.0	91.9	92.3	90.1
			92.3	93.8	95.0	96.0			94.1
	③水道(配水池)		62.2	62.2	62.2	62.2	62.2	70.2	71.4
			70.2	82.7	85.3	93.6			79.6
	④水道（水道管路）		1.4	2.1	2.8	3.5	4.8	5.1	14.0
			5.1	5.7	6.3	6.9			24.0
	⑤橋梁（重量橋）		27.4	46.6	48.6	48.6	49.3	52.0	41.9
			52.0	52.0	52.0	52.0			55.9
災害に強いまちづくりができていると思う人の割合（%）		↗	11.3	13.0	15.7	15.9	12.9	14.3	21.3
			14.3	15.9	16.9	17.0			30.7

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

国の中央防災会議や県から南海トラフの巨大地震の被害想定が発表され、頻繁にマスメディアにより報道されている。また近年はゲリラ豪雨などによる被害も各地で発生しており防災についての関心が高まっている。連区や町内会、企業では、防災訓練や防災教室など防災教育が行われている。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	避難施設をはじめ、ライフライン・橋梁の耐震化は計画的に着実に整備している。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊

総合計画推進市民会議による現状評価（※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の評価書」から転記）

評価	B 停滞	指標2のうち水道管路の現状値が他と比較して低すぎる。また、指標3も目標値からほど遠い。他の指標については順調に推移している。